

科目区分・分類	一般・	対象学科名・学年	電子情報4年	科目コード	47011234
科目名	マクロ経済学 Macro Economics				
担当教員	名部井 一良				
単位数(時間数)	選必 前期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応			
授業の目的と概要	本講義では、長期的な視点から、経済が成長する条件を考察する。				
先修科目	現代社会				
後修科目					
備考	講義を理解する上で必要な経済学の理論や知識はその都度説明するので、十分に把握しておくこと。				
	授業項目	時間	内容		
1	国民所得の決定理論	2	静学モデルとしての所得決定理論を学ぶ。		
2	投資と貯蓄の均等	2	マクロ経済の均衡条件を理解する。		
3	経済成長の事実	2	OECD諸国を初めとする国々の経済成長の軌跡を確認し、理論が説明すべき事実を理解する。		
4	ソロー・モデル	2	基本的で扱い易い成長理論を学ぶ。		
5	ソロー・モデルの経験的応用	2	ソロー・モデルの説明力を検証する。		
6	技術進歩	2	技術進歩を分類し、経済モデルへの導入を図る		
7	技術進歩を含んだソロー・モデル	2	定常状態における持続的成長の説明ができるように技術進歩を導入する。		
8	人的資本を含んだソロー・モデル	2	教育が経済成長に及ぼす効果を検証する		
9	アイデアや知識と収穫逓増	2	アイデアや知識のような外部効果をもつ生産要素が経済活動に及ぼす効果を理解する。		
10	独占企業の経済活動	2	独占企業の利潤極大化条件と独占利潤について学ぶ。		
11	アイデアの生産関数	2	研究開発活動が技術を発展させ、経済成長率を規定するモデルを学ぶ。		
12	ローマー・モデル	2	研究開発によって生み出されるアイデアを成長のエンジンとみなす基本的なモデルを学ぶ。		
13	経済開発のモデル	2	発展途上国に適応される内生的な経済成長モデルを学ぶ。		
14	インフラストラクチャーと経済成長	2	法律やインフラ整備が経済成長に及ぼす効果を考察する。		
15	その他の内生的成長モデル	2	いくつかの別のタイプの成長モデルを紹介する。		
16	前期期末試験				
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	経済を成長させる様々な要因について理解すること。また、政府日銀の成長戦略について自分なりの意見を持つこと。				

成績評価	期末試験（50％）・課題（レポート・報告など）（50％）で100％とする．全体の60％以上で(A - 1)の達成とする．
教材	プリントを配布する．参考書：C. I.ジョーンズ / 香西泰監訳『経済成長理論入門』日本経済新聞社 C. I.ジョーンズ / 宮川努・荒井信幸他訳『マクロ経済学 長期成長編』東洋経済新報社
オフィスアワー	質問などがある場合は，授業の前後に聞いて下さい